

◆ 北海道厚生連地域医療支援センターと医師募集のお知らせ

■ はじめに

近年、地域の医療崩壊が各地で起こっていますが、根本的な対策はいまだ出来ていません。地域医療を志す医師は決して少なくはありませんが、研修体制、バックアップ体制が十分出来ていないため、地方赴任に二の足を踏んだり、さらには赴任してもいわゆる「燃え尽き」状態となり地方を去る医師も多く、地域医療崩壊に拍車をかけています。

北海道厚生連は、北海道の地域医療確保のため努力を続けておりますが、この度、地域医療の立て直しを図る目的で「北海道厚生連地域医療支援センター」を設立いたしました。

このセンターでは厚生連病院間の協力体制のなかで研修を実施し、地域医療に必要な総合力を養い、幅広い技量をもつ総合診療医の育成を行います。さらに地方派遣後もセンターによるバックアップを行うなど体制の充実を図り、様々な支援を行います。

現在総合診療科は、倶知安厚生病院と帯広厚生病院にて診療を行っておりますが、当面はこの2つの病院を中心に研修を実施いたします。

地域医療を志す先生方につきましては、是非ご協力を頂き、ともに地域の医療確保のためにご尽力をいただければと存じます。

(倶知安厚生病院 院長 九津見 圭司)

■ 募集対象医師

- 家庭医療を目指す医師（開業前研修も含む）
- 病院での総合診療医を目指す医師
- へき地医療を目指す医師
- プライマリーケアの習得を希望する医師
- 初期研修医
- 専門医（精神科含む）を目指す医師でプライマリーケアの習得を希望するもの

■ 組織

センターは倶知安厚生病院に設置し、帯広厚生病院とともに運営を行います。この2病院を中心として北海道厚生連関連病院・クリニックとの連携を図ります。

- 地域医療支援センター長
土田 正一郎
(倶知安厚生病院 診療部長 兼 精神神経科主任部長)
- 事務局 北海道厚生連 医師確保対策室、倶知安厚生病院 事務次長

■ 研修プログラム

研修期間は個人毎に作成をしますが、下記を基本といたします。

- 医師経験者は原則2年とする。
- 初期研修終了後の後期研修医は3年とする。

■ 年次別基本プログラム

▼ 1年目

- 8ヶ月の当院総合診療科での研修
- 4ヶ月の厚生連一般病院、クリニックでの研修

▼ 2年目

- 6ヶ月の当院総合診療科での研修
- 3ヶ月の帯広厚生病院総合診療科での研修
- 3ヶ月の研修医が希望する専門診療科の研修
 - * 専門診療科研修については、それぞれ特徴のある病院に依頼します。
依頼先については、希望する科によって厚生連の6総合病院の中から選択し、研修を受けることが可能です。
 - * 厚生連以外で適当な研修先がある場合も可とします。
(e x. 大学、手稲溪仁会病院、その他、全国の厚生連病院)

(例)

救急	:	帯広厚生病院 救命救急センター
内視鏡	:	札幌厚生病院、旭川厚生病院、網走厚生病院
脳外科	:	帯広厚生病院、遠軽厚生病院
麻酔科	:	倶知安厚生病院、札幌厚生病院、旭川厚生病院、 帯広厚生病院、遠軽厚生病院

▼ 3年目

- 本人の進路希望を優先しながら、適宜プログラム設定を行います。
- ※ 以上のプログラムは、あくまでも基本プログラムであり、作成にあたっては十分な話し合いのうえ、個々の医師に適したプログラムの作成を行います。
- ※ また研修終了後は、厚生連での就職を援助いたします。

■ 身分・待遇

- 医師経験者は一般採用医師と同じ待遇とします。
- 前期（初期）研修修了者は、後期研修医として待遇します。

■ 施設認定

- 日本家庭医療学会専門医認定施設
- 総合内科医養成研修センター施設

■ 北海道厚生連関連病院・クリニックとの連携図

※それぞれの特徴を生かした総合的な研修が可能です。



※連携図以外の診療科も対応可能(精神科・血液内科・麻酔科・・・等)

■ 連絡先

連絡先については下記の通りになります。

北海道厚生連の各病院の紹介等につきましては、北海道厚生連ホームページ上に掲載しておりますので、ご参考ください。 <http://www.ia-hokkaidoukouseiren.or.jp/>

ご不明な点などございましたら、気軽にお問い合わせ願います。

倶知安厚生病院	：	Tel.	0 1 3 6 - 2 2 - 1 1 4 1
		E-mail	kutchanhp@ia-hokkaidoukouseiren.or.jp
北海道厚生連 医師確保対策室	：	Tel.	0 1 1 - 5 5 5 - 3 2 6 6
		E-mail	dr-recruit@ia-hokkaidoukouseiren.or.jp